

『新収益認識基準』の J-SOX への影響と対応

～ J-SOX 対応部門の観点から、収益認識基準適用に際して、
どのような準備・対応が必要なのかについて解説します ～

《開催要領》 ※講師とご同業の方のご参加はお断りする場合がございます。※最少催行人数に満たない場合、開催中止とさせていただきます。

日時▶ 2019年 12月23日(月) 14:00～16:30

会場▶ 企業研究会セミナールーム(東京:麹町)

《ご参加いただきたい方》

監査部門、経理部門など関連部門のご担当者

講師 樋口公認会計士事務所 公認会計士 樋口洋介氏

講師紹介
99年横浜国立大学経営学部卒業、13年ビジネス・ブレイクスルー大学大学院経営学研究所修了(MBA)。00年に監査法人トーマツへ入所し、上場企業の財務諸表監査やリスクマネジメント業務に従事。06年より現職。「組織の機能不全の防止・発見・是正」を事業ドメインとして、上場企業を中心に、内部統制の整備・運用支援、内部監査の整備・運用支援、不正調査業務を提供している。日本公認会計士協会IT委員会情報セキュリティ対応専門委員。



《申込方法》 当会ホームページ (https://www.bri.or.jp) からお申し込み下さい。

企業研究会Q 検索

■受講料: 1名(税込・資料代含) ※申込書をFAXでご送信いただく際は、ご使用のFAX機の使用法(0発信の有無など)をご確認の上、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

正会員	35,200円 (本体価格 32,000円)	一般	38,500円 (本体価格 35,000円)
-----	------------------------	----	------------------------

191614-0202 『新収益認識基準』の J-SOX への影響と対応

ふりがな 会社名			
住所			
TEL	FAX		
ふりがな ご氏名	所 属 職		
E-mail			

※申込書にご記入頂いた個人情報は、本研究学会に関する確認・連絡および当会主催事業のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

■申込・参加要領 : 当会ホームページからお申込みください。FAX、または下記担当者宛 E-mail からもお申込み頂けます。

後日(開催日1週間～10日前まで)に受講票・請求書をお送り致します。

※よくあるご質問 (FAQ) は当会 HP にてご確認いただけます。([TOP]→[公開セミナー]→[よくあるご質問])

※お申し込み後のキャンセルはお受け致しかねますので、ご都合が悪くなった場合、代理出席をお願いします。

■お申込・お問合わせ先: 企業研究会 セミナー事業グループ 担当/民秋 E-mail: tamiki@bri.or.jp

TEL: 03-5215-3514 FAX: 03-5215-0951 〒102-0083 東京都千代田区麹町 5-7-2 MFPR 麹町ビル 2F 【DM変更連絡】 03-5215-3512

・プログラム・

収益認識基準は2021年4月1日以後開始する連結会計年度及び事業年度の期首から原則適用となります。収益認識基準の適用により、内部統制報告制度(J-SOX)へも少なからず影響があると考えられます。そこで、J-SOX 対応部門の観点から、収益認識基準適用に際して、どのような準備・対応が必要なのかについて解説します。

1. 収益認識基準の概要

- (1) 収益認識基準とは
- (2) 収益認識基準の基本的な考え方
- (3) 収益認識基準の影響度調査
- (4) 内部統制報告制度への影響度調査

2. 評価範囲の検討

- (1) 影響度調査を踏まえた、評価範囲の再検討
- (2) 全社的な内部統制の評価範囲への影響
- (3) 重要な事業拠点の選定への影響
- (4) この機会をとらえた簡素化・最適化への取り組み

3. 文書化への影響

- (1) 業務手順や業務システムへの影響
- (2) 販売プロセス RCM への影響①(リスクは変わるのか?)
- (3) 販売プロセス RCM への影響②(コントロールへの影響)
- (4) 販売プロセス RCM の再文書化に向けた取り組み
- (5) IT 業務処理統制・IT 全般統制への影響
- (6) この機会をとらえた簡素化・最適化への取り組み

4. 収益認識基準に関連する J-SOX のプロジェクトマネジメント

5. まとめと質疑応答

※最新情報・動向を織り込むため、上記の内容を一部変更させていただく場合があります。

※最少催行人数に満たない場合、開催中止となる場合がございます。

裏面もご覧下さい! 一枚のパンフレットで
2種類のセミナーをご案内しております。